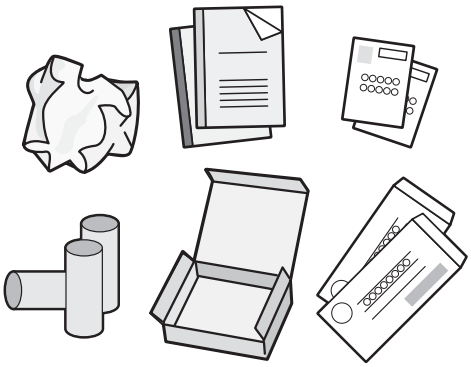
今日からはじめよう！ ごみのダイエット通信㉙

ごみをダイエットするポイントは「生ごみ」と「雑紙」を減量することです。

今月は、「雑紙」のダイエットを紹介します。

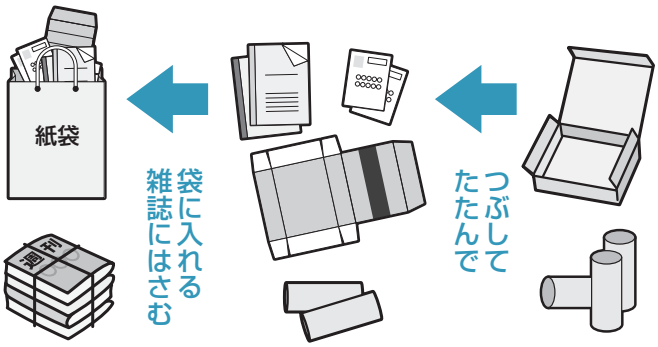
「雑紙」とは…

ティッシュペーパーやスナック菓子の箱、トイレットペーパーや家庭用ラップの芯、はがきやダイレクトメール、包装紙や使い切ったノートなど、名刺サイズより大きな紙類のことを「雑紙」と呼んでいます。町では、これらの雑紙を資源化する取組みを進めています。



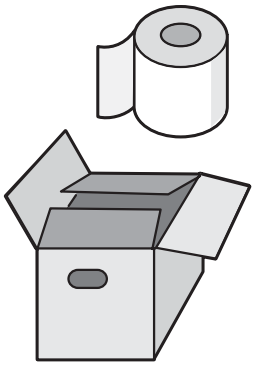
どうやって出すの？

ビニールや金具はとりのぞいて、プリントや包装紙は、「グチャグチャ」に丸めないで「たたんで」、お菓子やティッシュペーパーの空箱、トイレットペーパーの芯は、「つぶして」から「紙袋」に入れるか、雑誌の間にはさんで「古紙」の収集日に出してください。



分別するとどうなるの？

分別した雑紙は、資源として「トイレットペーパー」や「ダンボール」に生まれ変わります。



それだけでなく、可燃ごみの量を減らすことができ、ごみ袋代の節約にもつながります。

さらに、皆さんの取組みで、ごみを燃やすことで発生する二酸化炭素を減らすこともでき、地球温暖化の防止にも貢献できます。

「ごみの減量化」は、町にとって大きなテーマです。皆さんのご協力をお願いします。

ごみのダイエット策を教えてください

皆さんが日ごろ、ご家庭で実践している取組みがあれば教えてください。

ごみに関する疑問や質問でも構いません。

お待ちしています。

問 環境美化センター ☎(72)4438

春の全国火災予防運動 3月1日(土)～7日(金)

平成25年度 全国統一防火標語 「消すまでは 心の警報 ONのまま」

これから春先にかけて空気が乾燥し、不注意から火災が発生しやすくなる季節です。火の取り扱いには十分注意し、火の用心を心がけましょう。

問 消防総務課 ☎(61)0911

《住宅防火 いのちを守る7つのポイント》

3つの習慣
- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策
- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

住宅用火災警報器の設置が義務化になっています。設置されていない住宅は早目に設置してください。また、住宅用火災警報器と併せて、初期消火効果の高い消火器もご家庭に備えておきましょう。

平成26年度版 ごみ収集カレンダー 配布のお知らせ

広報おおいそ3月号の配布と合わせて、「平成26年度版ごみ収集カレンダー」を配布しましたのでご活用ください。

また、次の公共施設でも配布しています。

- ○役場本庁舎(町民課)
- ○国府支所
- ○環境美化センター
- ○ふれあい会館
- ○生涯学習館
- ○図書館本館
- ○郷土資料館
- ○福祉センター「さざれ石」
- ○障害福祉センター「すばる」
- ○子育て支援総合センター「めばえ」

問 環境美化センター ☎(72)4438